

当院で乳がんの重粒子線（炭素イオン線）治療を受けられた皆様へ

QST 病院では、乳がんに対する重粒子線治療を行った患者さんにおいて、治療にかかる準備の時間や金マーカーの動きの量や傾向について解析することになりました。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

【研究課題名】 乳がん重粒子線治療における患者セットアップに関する後ろ向き観察研究

【研究実施期間】 機関の長の許可日～2029年3月31日

【研究機関】 量子科学技術研究開発機構 QST 病院

【研究責任者】 若月 優

【研究の目的】 重粒子線治療では、治療の精度を高めるために患者さんの体位を正確に再現することが重要です。一方で、治療準備（セットアップ）に要する時間が長くなると、姿勢の保持が難しくなり、患者さんやスタッフへの負担が増大するという課題があります。本研究では、QST 病院において重粒子線治療を施行した乳がん患者さんの身体情報・背景因子・治療前処置・照射体位毎にセットアップ時間やマーカー位置のずれや傾向を解析し、より負担の少ない最適な治療体位・マージン設定を検討することを目的とします。

【研究の方法】 下記の情報を収集し、データ解析を行います。

●対象となる方々

2017年6月以降、2024年2月までにQST 病院において乳がん重粒子線治療を受けた方。

●利用する情報

患者さんの年齢・身長・体重・BMI・診断名・病期・照射部位・病変の位置・大きさ・治療体位（仰向け・うつ伏せ）・乳房の厚さ、金属マーカー挿入の有無・部位・使用固定具の種類、治療台乗降からビームオンまでのセットアップ総所要時間、各工程の所要時間、金マーカーのずれ量・方向等の診療情報を収集し、解析に利用します。

新たな質問や検査はありません。

【データの利用開始予定日】 研究機関の長の許可日以降

【個人情報の取り扱い】

本研究で得られた個人情報は、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないよう加工して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名そのほか個人を特定しうる情報は一切公表しないこととします。（個人情報保護法及び国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2026年11月30日までに、下記窓口にお申し出ください。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。研究機関の長の許可日以降に解析を行います。が、2026年11月30日まではお申し出があれば、データを取り除きま

第 1 版 作成日：2026 年 5 月 18 日

す。それ以降のお申し出であっても可能な限りデータを取り除きますが、データ解析に使用して個人情報と切り離されてしまった診療情報は取り除けないことがあります。その場合にも、個人を特定できる情報が表に出ることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST 病院 若月 優

電話：043-206-3306（平日 9：00～17：00）